

発行所株式会社空調タイムズ社  
本社 (〒105-0013)  
東京都港区浜松町2-3-29  
(磯山第2ビル)  
電話代表番号 東京3433局6501  
FAX: 東京 3433-6505  
関西支社 (〒530-0015)  
大阪市北区中崎西1-4-22(第八新興ビル)  
電話代表番号 大阪6312局6061  
URL http://ac-times.com  
振替口座 00140-9-49445

### 4面



宮寺 力也 氏

「KIFLEX AIR-CONDITIONING SYSTEMS」の  
広報にも取り組むミヤテラ断熱の代表取締役社長

「自社の主力断熱材の一つと、工事のトータルコスト削減を売  
したのが、社会的に石綿が問題 現する。発塵しないため、クリ  
視されたのが突破。優れた低発 ンルーム等の空調系の仕上げ  
断性能から、最近ではクリーン や衛生的な環境を追求する医療  
ルームなど、ハイテク分野での 品、食品、飲料工場などの小型  
導入も増える傾向にある」と話 タンクや設備配管の断熱などに  
すのは、イタリア製発泡ゴム断 も適応する。ジャケット表面に  
断材「KIFLEX・ALCLAD は対候処理が施されており、屋  
AD SYSTEM」による 外仕様の機器、冷温水配管、空  
空調断熱工事に注力するミヤテ 調ダクトの断熱などにも対応す  
ラ断熱(本社・東京都品川)の する。  
宮寺力也社長。

## 発泡ゴム断熱材の普及へ

### 空調向けに材工一体で展開

「KIFLEX」は自己消化 性と耐食性を兼ね備えた難燃不 燃認定取得の発泡ゴム断熱材。  
「ALCLAD SYSTEM」 は、「KIFLEX」の表面に する。  
「日本市場での『KIFLEX X』普及は、まだ緒に付いたばかりの段階。幾つかの企業が、  
Xタルジャケット装着工程を省 略できるため工期短縮ができ、 それぞれの事業領域で、市場浸

透を進めており、その中で当社 足から、これら事業を承継し、  
は空調分野を担っている。当面 また、すべての役員従業員は全  
は材料販売・工事を一体化し 変化する本会社に移籍。保温  
た形での普及拡大に努める」と 断熱事業と共に、注  
力するアスベスト除去事業に関

屋の躯体と、「ひびびり」に強  
いポリエチレンフィルム層の間に  
できる気密空間に、アスベ  
ト層を置き、除去作業はポリエ  
チレンフィルム越しに作業者が  
手作業で行うもの。仮設枠を組  
み立て、上からフィルムを被せ  
る様な形で形成する。最大特長  
は、作業者の作業空間が、概念  
的にはアスベスト除去における  
「周辺環境」に属する点。実際  
には、フィルム越しに除去作業  
するので、作業者がアスベスト  
に暴露する頻度が極めて少な  
く、安全性が非常に高い。

ミヤテラ断熱は、保温保冷市 しては、この会社分割以前にミ  
ヤテラが、小川テックのアスベ 場、とりわけ空調分野での断熱  
スト除去技術の新工法「部分隔 工事で全国有数の規模を有する  
離アスベスト除去ラッピング工 企業。同社は今年六月一日付で  
法」をうけつづけている。特 断熱工事業の専門性をさらに高  
許申請中)の開発で技術協力。 めることを目的に、工事業部  
門及び販売事業部門を吸収分割 同工法による都内第一号の施工  
(物的分割)の方法で発足した を、ミヤテラ(当時)が、今年  
ミヤテラグループの新社。二 月に行っているが、当該事業  
ヤテラ断熱は、ミヤテラ(本 についても承継している。  
同日に不動産賃貸業として新発 同工法は、作業現場となる部  
している」と語る。

は、全国の労働基準監督署に  
有力な工法として認知いただい  
ており今後、建築センターの審  
査証明(一定の件数実績が必要)  
を得ることで、大企業にも使  
やすいものとなると考えてい  
る。審査証明を得るのに必要な工  
事件数は、(同工法全体でみる  
と)あと二年程度で充足すると  
考えられるので、先行きに期待  
している」と語る。